

いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 1 直接民主政	アテネで行われていたのは、市民全員（ただし成年男性のみ）が民会に出席して直接議決権を行使する政治形態であり、これを直接民主政と呼ぶ。これに対し、現在の多くの国のように選挙で選ばれた代表者が議会で政治を行う仕組みを間接民主政（議会制民主主義）という。
問2	答え 2 広大な領土を統治するために、軍隊の移動を支える道路網や、都市生活に不可欠な水道などの公共施設が整備された。	西暦1世紀頃のローマ帝国は「パクス・ロマーナ（ローマの平和）」と呼ばれる最盛期にありました。広大な帝国全域に張り巡らされた「ローマの道」は軍隊の迅速な派遣を可能にし、都市部では高度な土木技術を用いて水道橋などの公共インフラが建設されました。メソポタミアの楔形文字やギリシャの民主政治は紀元前の出来事であり、ルネサンスは14世紀以降の出来事であるため、時期が一致しません。
問3	答え 4 楔形文字	この地域では、湿った粘土の板に葦などの茎を押し当てて文字を刻んでいました。その形状が「くさび」に似ていたことから楔形文字と呼ばれます。亀の甲羅や牛の骨に刻まれたのは中国文明の甲骨文字、ナイル川流域で使われたのはエジプト文明の象形文字です。
問4	答え 4 人権宣言	フランス革命の中で国民議会によって採択されたこの宣言は、封建的な身分制度を否定し、自由・平等、主権在民、私有財産の不可侵など、近代市民社会の原理を確立しました。アメリカの独立宣言（1776年）やイギリスの権利の章典（1689年）としばしば比較されますが、フランス革命という背景と、特に「主権が国民にある」ことを強く打ち出した点が特徴です。
問5	答え 1 太陽暦	ナイル川は毎年決まった時期に増水し、周囲に肥沃な土壌をもたらしました。この氾濫の周期を把握することは、農業を行う上で極めて重要であったため、天体の動きを観察することで1年を365日とする太陽暦が考案されました。これは後にローマで採用され、現在の暦の基礎となりました。
問6	答え 4 ナイル川	エジプト文明は、世界最長級の河川であるナイル川の流域で発達しました。選択肢のうち、メコン川は東南アジア、ユーフラテス川は西アジアのメソポタミア文明、ラブラタ川は南アメリカ大陸を流れる河川です。
問7	答え 1 中国から西方へ絹織物が運ばれる一方で、西方からはぶどうなどの産物や仏教が伝わり、内陸のオアシス都市が中継地として栄えた。	シルクロードは単なる物資の輸送路ではなく、宗教や技術、文化が混ざり合う重要な役割を果たしました。中国側からは高品質な絹織物が輸出され、西方（中央アジアや西アジア）からはぶどうなどの植物や、インド起源の仏教が中国へと伝来しました。この交易を支えたのが砂漠点在するオアシス都市であり、敦煌はその代表的な拠点の一つとして仏教美術などの文化が花開きました。
問8	答え 4 石を打ち欠いて作った道具を使い、獲物を追って移動しながらテントのような簡易的な住まいで暮らしていた。	旧石器時代はまだ土器が発明されておらず、人々はマンモスやナウマンゾウなどの大型動物を狩るために、移動を繰り返す生活を送っていました。そのため、縄文時代のような定住性の高い竪穴住居ではなく、移動に適した仮住まいを利用していたと考えられています。他の選択肢は、縄文時代（土器・定住）、弥生時代（稲作・金属器・国）の特徴です。
問9	答え 1 アンデス山脈の厳しい自然環境に適応するため、高地の斜面に段々畑を造り、高度な石造技術を用いた都市を建設した。	インカ帝国は標高の高いアンデス山脈に位置していたため、限られた土地を有効に活用する段々畑の技術や、地震にも耐えるほど精巧な石造建築が特徴です。メキシコ高原で栄えたのはアステカ文明、ユカタン半島で栄えたのはマヤ文明であり、地理的条件や文明の特色によって明確に区別されます。
問10	答え 1 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。	弥生時代の青銅器（銅鐸、銅剣、銅矛など）は、当初は武器の形をしていましたが、次第に大型化し、豊作を祈るなどの祭りの道具として用いられるようになりました。一方、奈良時代の和同開珎は、律令制のもとで国家の経済的基盤を固め、都の造営などの支出をまかなうために発行された貨幣です。資料の用途の変化は、単なる道具の進化ではなく、社会の仕組みが「村の共同体」から「統一国家」へと発展したことを示しています。
問11	答え 2 民会	アテネでは、王や一部の貴族ではなく、市民が自ら政治を行う「民主政」が発達しました。その中心的な役割を担ったのが「民会」です。市民はアゴラ（広場）などに集まり、対話や議論を通じて戦争の開始や法律の制定といった重要な決断を下しており、これは現代の議会政治のルーツの一つとされています。
問12	答え 3 チグリス川とユーフラテス川という二つの大河の恵みにより農業が発達し、収穫物の管理や記録の必要性が生じたため。	農業の発達により集団生活が大規模化すると、神殿での貢納品の管理や商業取引の記録が必要になりました。そこで身近にあった粘土を利用して楔形文字が刻まれ、農業に不可欠な時期の把握のために暦が発達しました。ナイル川の氾濫はエジプト文明、計画的な都市構造はインダス文明、占いによる記録は中国文明の文脈です。
問13	答え 2 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。	奈良時代、日本は唐の進んだ律令制度や文化を学ぶために遣唐使を派遣しました。当時の唐の都である長安は、シルクロードを通じて世界各地から人や物が集まる国際都市でした。そこで育まれた国際的な文化（唐文化）が、遣唐使によって日本に直接もたらされたため、正倉院に代表されるような西方の香り漂う工芸品が日本に残ることとなりました。他の選択肢にある「倭の五王」は古墳時代、「勘合貿易」は室町時代、「白村江の戦い」は日本が敗北した出来事であり、時代背景や事実関係が異なります。